

総合教育会議の総括について（令和6年11月11日開催）

1 部活動の地域クラブへの移行について

（委員等からの意見）

- ・中学生にとっても生涯にわたってできるスポーツであることが理想。
- ・指導者の確保が課題で、種目によってもそれぞれの課題がある。
- ・できるところから地域クラブへの移行を始めればいいのか。
- ・地域指導者の学び、地域の指導者もやりがいを持つには、どのようにすればいいのか。
- ・地域クラブへの移行の基本的な考え方（生徒の主体的活動、楽しむ活動、持続可能な活動）は大事。
- ・子供のニーズに合わせた形で考えてもらいたい。（子供の意見を取り入れられないか）
- ・教員の働き方改革を考えると、クラブは全て外でやるほうがよいのではないか。
- ・地域クラブは種目ごとに地域の状況の分析をしなければならず、なかなか難しい。

2 TCPトリビンスプランについて

（委員等からの意見）

- ・アンケート結果で、「満足」が90%を超えていることは、すごいこと。
- ・基礎学力の定着、オンラインの指導、家庭学習の定着が大事。（分かったつもりを解消）
- ・デジタルとアナログの使い分けが大切で、学力を定着させるための反復学習が効果的なのではないか。
- ・Wi-Fiの接続が弱いところは解消したい。
- ・子供に体験させることが重要で、体験の差が今後に影響していく。
- ・教員の職場環境の状況はどうか、コミュニケーションは取れているか、教員がやりがいを持つことが大事。
- ・教員がやりがいを持っていれば、子供たちへの対応も変わり、子供たちは伸びていく。
- ・県外からも多くの参観があり、今までの授業改善の取組や教員の個の指導も高まっているので、ある程度定着している部分はある。
- ・家庭との連携も大事で、家庭学習はしっかりと押さえない。